

令和5年度 入学式 式辞

本日、公立千歳科学技術大学の新生として、理工学部には、二百七十名の学部学生、二名の編入学生。理工学専攻には、三十八名の大学院学生を迎えられたことを大変喜ばしく思っております。新生の皆様、そして、保護者並びにご関係者の皆さま、ご入学おめでとうございます。本学教職員を代表しまして、ご入学を心からお祝い申し上げます。

さらに本日は年度初めの大変お忙しい中、千歳市長 山口 幸太郎様、千歳市議会議員 山崎 昌則様はじめ、北海道議会議員、千歳市議会議員、千歳市の職員の皆様、そして市内の関係機関など、日頃ご支援頂いております、多くの皆様をご来賓としてお迎えすることができました。誠にありがとうございます。

本学は、令和元年度に公立大学法人となった、今年で五年目の公立大学です。前身である私立大学時代を含めても、今年で二十六年目となる新しい大学です。本学は、理工学の分野を専門とする単科大学となります。皆さんは、ここで、今まで知らなかった、あまり触れたこともなかった、多くの新しい学問分野に出会うこととなります。

国が定めた大学とは、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培うとともに、深く真理を探究して新たな知見を創造し、これらの成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものと記述されています。

各大学には、教育の理念があり、その理念に基づいて、教育及び研究が進められています。理念とは、その組織の根本的な考え方、基本的な考え方を意味します。

本学には、二つの項目で理念がうたわれています。

一つ目は、公立千歳科学技術大学は、理工学分野をはじめとする幅広い教育と研究を通して、高い知性とすぐれた人格を有する世に有為なる人材を育成するとともに、学術・産業の振興に貢献する。二つ目として、知の拠点として大学が有する人材と知恵を社会に提供し、地域との共生を通して、社会とともに発展する大学を目指すことです。

この理念からわかるように、皆さんには、理工学における、幅広い分野の学問を学び、優れた研究成果をあげ、その内容を、社会に還元し、より豊かな世界の実現に向けて大きく貢献してほしいという思いが含まれています。また、地域と

の共生とは、大学における教育・研究・社会活動が、地域の発展に貢献し、皆さんも含めた我々すべてが、地域ともに成長したいという願いを意味します。

このようなお話をすると、多くの皆さんには、高校とは、違う印象を持つのではないかと思います。大学での学びとは、より社会に近い、実践的な内容を学び、知識を得るだけではなく、それを活用し、社会へ還元することができるようになるまでが想定されています。さらに大学を卒業した後に進学する、大学院では、各学生は、社会に存在する課題を考え、自分の研究・開発テーマを持ち、その研究成果を発表し、よりよい社会の実現に向けて、その成果の活用や実用化までも検討します。実践的な教育、優れた研究開発など、一言でいうのは、簡単ですが、皆さんがそれを獲得し、実現するのは、容易ではありません。まずは、何事にも、自発的に行動することを常に心がけてください。講義や演習・実験のような学びの場だけではなく、クラブ活動、サークル活動や、課外活動など、様々な場面で、皆さんの自発的な考えや行動が期待されています。言われたことだけをただ行うような指示待ち人間や、批判することだけに興味を持つようなネガティブ人間になるような道は決して選ばず、失敗や挫折を恐れず、何事にも前向きに考え、能動的に活動していただきたいと思います。

ここにいる皆さんの多くは、過去三年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校や家庭における生活の場に大きな制限があったのではないかと思います。現時点でも、その影響がなくなったわけではなく、感染症対策は継続して実施しなければいけません。しかし、その影響はかなり小さくなり、この四月からは、大学における生活も、元に戻りつつあります。ただ、高校での三年間を経て本学に入学してきた皆さんの中には、その通常という意味が分からない場合もあるかもしれません。これからすぐに、大学での生活を含め、今までとは異なる枠組みでの生活について、いろいろガイダンスなどのオリエンテーションが準備されています。慣れるまでは大変かもしれませんが、楽しく、自由な生活が始められるものと思います。

最後に、リテラシーとコンピテンシーについて、お話をいたします。リテラシーとは、知識を正しく理解し、活用できる能力を言います。コンピテンシーとは、能力を発揮するための思考や行動を言います。皆さんは、一年生と二年生において、全学共通の教養科目を学びます。その中には、文部科学省より認定を受けた「数理・データサイエンス・人工知能」の科目もあります。そこでは、情報リテラシーについて、学ぶこととなります。情報リテラシーとは、適切な情報を収集

し、収集した情報を自身の目的のために正しく利用するための能力であり、情報ネットワーク・セキュリティ・コンピューター・SNSなど、インターネットや情報システムに関するデータや知識を正しく理解し、活用できる能力を意味します。学年が進むにつれて、そこで得た知識や能力を活用し、各人が高い成果を発揮するためにはどのように行動すべきかなど、様々な実習やプロジェクト学修で、コンピテンシーを身につけてゆけるものと思います。さらに、大学院に進学する皆さんには、応用化学生物学、電子光工学、情報システム工学の各領域において、自分の専門となる分野での研究活動が始まります。研究を正しく実施することは重要ですが、それと同様に、自分の研究成果を、世界に向けて発信することも大変重要です。グローバルな視点で、研究成果を常に情報発信していただきたいと希望します。

多くを学び、多くの友が得られるよう、そして大きな夢に向かって、のびのびと実り多い学生生活を送られることを祈っております。

本日は本当におめでとうございます。

令和5年4月4日
公立千歳科学技術大学長
宮永喜一